



特定医療法人

# 鵬友会 ニュースレター

鵬友会ホームページ アドレス  
<http://www.goodream.co.jp/hoyukai/>

第11号

発行 / 2007年3月15日  
特定医療法人社団 鵬友会  
発行責任者 /  
事務局長 池島 守

## 新中川病院 看護部の現状と課題

～ よりよいケアを目指して～

新中川病院 看護部長 三浦 満喜子



当院は昭和61年に一般病院として192床で開院した。その後の制度改正や、地域ならび社会情勢の変化に伴い当院の医療環境も年々変化を重ね、平成13年に一般病床48床と医療型療養施設108床に改築し4単位156床のケアミックス型の施設となった。さらにハード面の改築を行い、平成16年作業療法室・言語療法室の増設を行ない、内部体制を整理し現在152床に縮小した。療養環境にふさわしい環境のもとで地域住民から信頼され頼られる施設をめざし、在宅リハビリ・訪問看護・訪問医療を中心に地域の信頼を基に安定した経営を行い現在に至っている。

平成18年度の医療制度改正は医療型病床を持っている当院では、削減に向けた兵糧攻めとなった。療養病棟入院基本料の点数配分によるケースミックス(患者分類)を導入し医療必要性の高い患者に係わる評価を引き上げる一方、医療必要性の低い患者に係わる評価は下げられ区分1に相当する患者は社会的入院とみなされた。入院医療の必要性は無く、在宅や施設への対象とする患者、介護難民が4万人と推計されている。整備もないままにどこに行くのでしょうか。医療依存度の低い患者が多い療養病床の1ヶ月医療費が50万円程度とすると医療依存度の低い医療区分1の患者は半額程度になってしまう。今後は医療区分1の割合を20～30%の比率におとさなければ改訂前の療養病床一人

当たりの報酬額を下回ることになり、病院経営にとっては死活問題となる。医療区分2・3の割合が80%を超過する病棟は看護・介護体制が4対1の配置基準に変更しなければ、当該点数が算定できないことになっている。特に看護の質を低下させないためにも、当院では夜勤帯の職員配置の見直しが必要となった。

80%の医療依存度の高い2・3の患者を抱え、療養病棟としての職員の、意識改革・業務量の煩雑など、様々な改善対策が現状の問題として浮上してきた。複数の合併症を持った高齢者の疾病の理解・処置・注射・家族への対応などこの半年間、大きく療養病棟の現場はよりよい看護・介護をめざし変化を遂げております。病棟師長・主任を中心に学習会や教育・院内・外研修・外部講師による院内研修等実施し、自己研鑽に努めております。療養病棟で培ってきた経験を生かし看護の質を表す(口腔ケア・身体の清潔・褥瘡予防の徹底)は看護・介護の基本であり当院看護師の自慢とするところです。当たり前のことが当たり前に自然に出来ることが大事なことであり看護の質に繋がるものと考えております。地域の皆様に好かれる病院を目指し頑張っております。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 第3回 市民向け医療・福祉講座

平成19年2月16日(金)14時より、新中川病院リハビリ室にて、「老人医療の特徴と問題点」を開催しました。出席者は、ご家族や、施設職員の方々、町内会の方々、計72名の参加人数で会場が溢れる状況でした。

講師 福田院長より、老人医療の特徴と問題点について講義があり、リハビリからは講師 間野科長代理より、すぐできる体操を教わりました。参加者からもすぐ実践したいとの声もありました。



看護部からは、手作りの介護用品などが展示されており大盛況でした。

今回のテーマ「老人医療の特徴と問題点」について、ご理解いただけたのではないかと思います。少しでも皆様のお役に立てるように今後も取り組んでいきますので、ご支援お願い致します。

## 新・ほうゆう園新築工事始まる

### 開園は平成19年6月頃

医療法人社団鵬友会では、院内保育所を福利厚生的一端として開園いたしました。今年で13年の歳月がたち、施設が老朽化した為、建て直しをすることになりました。当時を思い出し、一言お話しを致したいと思います。当時は各施設の看護職員の幼児を預かり、園児定員も16人でしたが、定員を満たしたことはありませんでした。又、入梅時には渡り廊下より、風は入るし、雨漏りはするし、再三手直し、それは大変な保育所でした。しかし園児達は、近所の公園に散歩をしたり、保育所の中で走り回ったりして、大変元気がよく1日を無事に過ごしていました。

新・ほうゆう園は、平成19年1月10日に地鎮祭が行われ、また2月には完成予定図を見ながら内装の打ち合わせも行い、いよいよ新築工事が始まる実感を覚え、嬉しさと不安が頭の中を駆け巡りました。

**新・ほうゆう園は24時間体制、園児定員30人**  
6月頃開設します。鵬友会、関連施設、全職員の幼児を預かるようになります。当初はいろいろ問題があるかと思いますが、職員一同一生懸命頑張って立派な保育所にしていきたいと思っておりますので、皆様方のご協力をお願い致します。



建設中の現場より

### 保育主任より一言！

「おはようございます。」の元気な声から、1日が始まり「さようなら。」で1日が終わります。怪我も無く元気に「さようなら。」と言って保護者と仲良く帰る後姿を見て、保育者達は1日が無事に終わりほっとする瞬間です。当たり前なのですが大変なこともあります。子育てしながら働く人達が安心して働けるために、ほうゆう園が開園されたとのこと。新・ほうゆう園が完成された暁には、今までと同じように園児達が明るく楽しい環境にしたいと思い、今から毎日、あれやこれやいろいろ考えております。また、現職員一同は、他の院内保育所に恥じない保育所にしていくことと保護者の方と連携を保ちながら事故のない保育所にしていきたいと思っております。